

全通研学習書改訂についてのお知らせ

2020年10月1日

全通研学習書改訂委員会 発行

● そもそも学習書とは？

教科書 (教科用図書)	学校の授業で使用することを前提とした教材 ※ 全ての高等学校で使用が義務付けられている
学習書 (通信教育用学習図書)	自学自習で学ぶ通信制の生徒のための教科書を補足する教材 ※ 高等学校通信制課程では使用が義務付けられている

学習書は授業の役割の一部を担い、自学自習を支援するための教材です！

● 学習書の新編集・執筆方針（基本方針）



通信制高校で学ぶ生徒のうち、教科書だけでは報告課題（レポート）の作成等の自学自習を進められない生徒を主な対象に、自宅等での自学自習を支援するために、教科・科目の特性等に応じた効果・効率・魅力の高い教材となるよう、ICTの利活用を視野に入れて、学習書を編集・執筆する。

**勉強が苦手な生徒でも
自学自習ができる教材
を目指します！**

● 改訂学習書の3つのキーワード「学習目標」「確認問題」「形成的評価」

改訂学習書では、全ての科目で明確な**学習目標**と、それに対応する**確認問題**（事後テスト）を掲載します。その目的は、生徒が自学自習でも**何を学ぶべきか**しっかりと把握し、学習書で学んだ後に、**学習目標を達成できたのか**を自己評価できるようにするためです。

また、改訂学習書執筆では一度に完成品を目指すのではなく、まずは小さく試作に取り組み、それをもとにした**形成的評価**を実施します。同じ科目の執筆者同士だけでなく、他の教科の執筆者からの評価とそれをもとにした改善を行うことで、より生徒の目線に立った学習書の編集・執筆を行います。試作と形成的評価の実例は次のページをご覧ください。

改訂学習書の具体的なイメージは次のページで！

新しい学習書のイメージをご紹介します！

& 検討メンバーからのメッセージ

化学基礎

学習目標：陽イオンと陰イオンのイオン式を用いて、組成式を表すことができる。
学習課題の分類：知的技能（学習した内容を、未知の事例や異なる状況等で活用する）

内容を分類・精選した
学習目標にして
スモールステップ化

「ポイント」と「考え方」の
内容を揃えて
「ポイントを身に付ければ
問題が解ける」ように

学習する流れを
示す

生徒がひっかかりを感じる部分は、
できるだけ近くでサポートする

ポイント 組成式の作り方

① (陽イオンの価数×個数) と、(陰イオンの価数×個数) が
数字が等しく、符号が逆になるようにイオンの数を求める

② 陽イオンを左に、陰イオンを右に並べ、それぞれの個数を
元素記号の右下に書く。ただし、+と-、個数の1は省略する

例題 次の陽イオンと陰イオンからできる物質を、組成式で表しなさい。
(1) Na^+ と S^{2-} (2) Ca^{2+} と OH^-

考え方

(1) ① Na^+ の価数は+1、 S^{2-} の価数は-2だから、
(陽イオンの価数×個数) → (+1×個数)
(陰イオンの価数×個数) → (-2×個数)
数字が等しく、符号が逆になるのは
 Na^+ の個数が 2
 S^{2-} の個数が 1 のとき

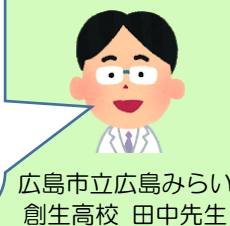
② 陽イオンのNaを左に、陰イオンのSを右に書き、右下に個数を書く。
ただし、+と-、個数の1は省略する。

解答 (1) Na_2S

復習 イオンの価数
 Na^+
元素ごとに決まっ
ている → 周期表

説明はとことん
分かりやすく

科目の内容理解も、通信制での学習指導の方法も模索している最中の私でもやってい
けるのは、今回の執筆が形成的評価を取り入れて「みんなで」作り上げるものだからだ
と感じています。緊張しながらも少し気楽に、同時に次の学習書改訂までの10年間この
学習書を使う生徒たちと私自身のためにもなる、という確信を持って取り組んでいます。
是非、ベテランの方だけでなく、20代、30代の方々も参加をお待ちしています！



広島市立広島みらい
創生高校 田中先生

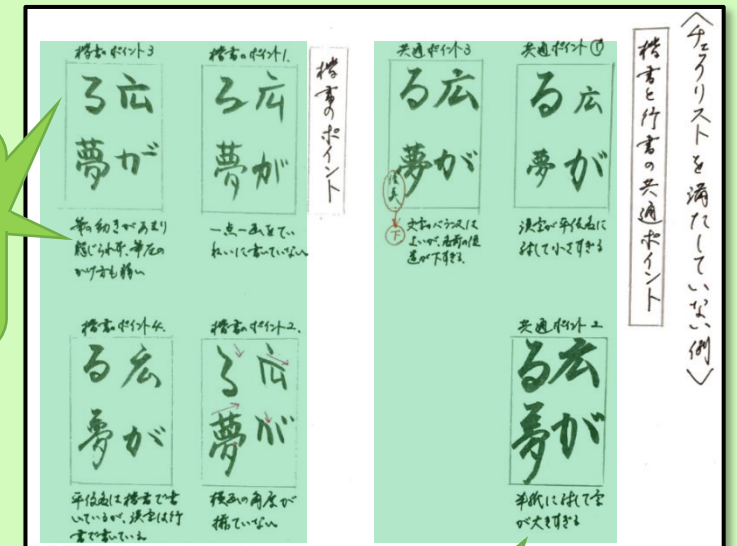
書道 I

学習目標：漢字仮名交じりの書を、楷書と行書で半紙にバランスよく書くことができる。
学習課題の分類：運動技能（状況に応じて、適切に身体を動かす）

「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」を
具体的に例示して、分かりやすく

つまずきやすい
ポイントを
実例と言葉の
両方で示して
理解を深める

目の前にいる生徒に
語りかけるような文体で書く



誤答を多く掲載し、
生徒が自分でチェックできるように



広島県立東高校
児玉先生

先生方も、日ごろ面接指導や添削指導をされる中で、生徒の躓きや間違いによく気付か
れると思います。先生だからこそ気付くそれらのポイントを、執筆において私たちは大切
にしたいと考えています。今回の学習書は、教科書だけでは自学自習が困難な生徒を対象
としています。学ぶ喜び・分かる楽しさを全国の通信制で学ぶ生徒の皆さんに伝えたい。
先生方のご参加をお待ちしています！

家庭総合

学習目標：「グリーンコンシューマー10の法則」を用いて自分の行動を振り返り、行動を変えていくことができる。
学習課題の分類：態度（学習内容への態度を認識し、必要に応じて行動選択を変容する）

「学習目標」と
「確認問題」を
対応させて、
内容を
ぶれさせない

語句説明は
厳選して
簡潔に

文章での説明を少なくし、
文字嫌いの生徒も学びやすく

時には
会話形式も

イラストで表現し、
イメージを具体化

学習目標：「グリーンコンシューマー10の原則」を用いて自分の行動を振り返り、
行動を変えていくことができる。

グリーンコンシューマーとは…環境のことを考えて行動する消費者

台風や大雨などの異常気象や、「資源があと〇年で足りなくなる！」
というニュースを見ると不安だな。これから先もずっと、みんなが
安心して暮らせる社会にするためにはどうしたらいいのかな？

それには、「持続可能な社会」を作っていくことが大切ですね。

確認問題

(1) 「グリーンコンシューマー10の原則」を用いて自分の行動を振り返り、当て
はまる項目に○をつけよう。

① () 物を買うときに、本当に必要か、よく考えてから購入している。

② () 水筒を持ち歩き、ペットボトル飲料を買わないようにしている。

② 使い捨て商品ではなく、長く使える
ものを選ぶ。

リデュース
Reduce
そもそもゴミとなる
物を減らす

④ 作るとき、使うとき、捨てるとき、
資源とエネルギー消費の少ないもの

今回の「学習書」開発にかかわることで、
① 「教育学」や「形成的評価」の手法を実践で
き、自分自身の指導スキルが向上する
② 他教科からも検討してもらうことで、これまで
とは異なる視点から担当教科の理解が深まる
③ 他校通信制課程の先生方と連携でき、通信制教
育の可能性に気づける
といった手ごたえを感じています！皆様もぜひ！

東京都立一橋高校 山口先生

更に詳しい内容は、
全通研 学習書研修会資料を
ご覧ください



→ 右QRコード
→ 「全通研HP」→ 「学習書研修会」

✓ 児玉先生、田中先生による講演動画
「学習書改訂試作の報告」

✓ 早稲田大学教授 森田先生による
講演動画
「遠隔教育と教育学」

など

全通研学習書執筆希望者の募集

改訂学習書は教科書のように高い専門性をもった先生だけでなく、**苦手意識をもつ生徒に寄り添える先生と一緒に作成していきたい**と考えています。通信制での経験の長さや教員としての経験年数に関わらず、「**通信制で学ぶ生徒の自学自習を支える力になりたい**」という想いのある先生に加わっていただけたらと思います。本格的な編集・執筆作業に取り組めるのは、教科書見本が手元に届く 2021 年 5 月から半年間と非常に短い期間ですが、学習書改訂に関わる全員の力を合わせて最善を尽くしていきたいと思っています。そして、zoom（テレビ会議システム）や Slack（チャットツール）を活用することで、遠隔でも綿密なコミュニケーションを取りながら編集・執筆を進めていきます。**学習書の改訂には全国の先生方の力が必要です**。執筆してみようかなと思っていただけた先生の積極的な立候補をお待ちしています。

最後に、全通研学習書改訂委員会に顧問としてご参加いただいている早稲田大学の森田裕介先生からのコメントです。

いっしょに「学習書」を創りませんか？

早稲田大学人間科学学術院人間情報科学科 教授 森田裕介



通信制高校では、学問を修得・継承していくための従来型の学びの前に、人間が本来持っている興味や関心に根差した学びが必要です。先生方の目の前には、意欲はあるけれどもどのように学習すればよいかわからないという生徒さんもいれば、まったく学ぶ意欲の湧いてこないという生徒さんもいることでしょう。「学習書」は、自学自習を進めようとする生徒さんに寄り添い、学びを支援する役割を担うものです。検定教科書のように“学者”が作るのではなく、日々、生徒さんと向き合っておられる“教育実践者”が創る学びのガイドです。

いっしょに創る「学習書」は、自学自習の一步をどう踏み出してよいのかわからない生徒さんや学び直しが必要な生徒さんが、手にとって読んでみようと思えるようなものです。志を同じくする仲間とともに、地域や教科の枠を超えて交流（Communication）し、協働（Collaboration）しながら、批判的思考（Critical Thinking）を繰り返し、新しい「学習書」を創造（Creativity）してみませんか？オンラインであれば、場所はありません。生徒さんと向き合い寄り添いつつ、仲間とつながり、複数の教員で協力しながら、楽しく学習書を創ってみませんか？こういった活動を通じて自身の教科指導力を高めていく、これこそが、これからの時代に求められる教師の姿なのではないでしょうか。

教育が未来を創ります。その教育を創る「志」を持った先生のご参加をお待ちしております。

執筆に興味をもっていただけた先生は、10 月末日までに下記へご連絡をお願いします！

全通研 事務局 村越和弘

TEL : 03-3841-5901 E-mail : zentu@ninus.ocn.ne.jp